

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	wish			
○保護者評価実施期間	令和7年3月12日		～	令和7年3月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	2
○従業者評価実施期間	令和7年5月9日		～	令和7年5月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月23日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	5領域を意識したアクティビティ活動(集団活動)の開催	・通所利用児の状態増に合わせた活動を行うために、活動時間を分けて実施。 ・個別課題に合わせた割り振りや対応する職員の配置工夫を実施。 ・アクティビティの参加ルールを職員、児童と共有し参加について相談・交渉を行いコミュニケーションを積極的に行っている。気持ちの表現や切り替え方法などの自分で対策・対処できる方法の幅を広げるように意識している。	標準化されたアセスメントツールの活用や5領域別でのアセスメント、モニタリングのスキルアップを図っている。
2	個別課題に焦点を当て各担当から発信し、職員間で課題の共有、支援の統一を図っている。	・担当児童のモニタリング会議開催に担当職員も同行し、他支援者や保護者とのコミュニケーションや、支援の方針を事業所内だけでなく、他機関との連携の場において確認する機会を持つようにしている。 ・個別課題を抽出し焦点を充てた1つの個別活動を継続的に行うこと。 ・土曜日の開所時はより個別プログラムを強化していること。 ・SSTの実践の場を実際に体験し、体感するプログラムが提供できていること。 ・年長から小学6年生までに受け入れ児童を限定し、小学校への移行に向けて課題を設定している。	・実施しているサービス(児童発達支援・放課後等デイサービス)のについての熟知とその他の障害福祉サービスについて知る機会をもつ。 ・障害福祉サービスのみならず、あらゆる社会資源を職員自ら知って、体験・経験できる体制作り。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会が提供できていない。	実績がなく、スケジュールや活動の組み立てを事業所でイメージすることができていない。	・送迎や会議等を活用し、相互理解を深めていくため積極的に情報を共有していくこと。 ・事業所連絡会、交流会等への参加し、公的機関が主催するイベント等に参加していくこと。
2	安全計画・緊急時災害対策等の保護者への周知が不足している。	・計画はしているものの、訓練をどのように行えばよいかの検討が不十分。 ・保護者への周知がホームページ上でしか行えていない。	・業務継続計画(BCP)のを筆頭に、事業所の位置する地域のハザードマップ等を熟知する。 ・地域の防災訓練等へ積極的に参加し、地域を知り交流していく姿勢を持つこと。 ・周知方法の再検討(媒体・頻度等)
3			